

関係各位

国際シンポジウム
International Symposium "Australia, Japan and Southeast Asia:
Tenth Anniversary of the Joint Declaration on Security Co-operation"
のご案内

公益財団法人日本国際フォーラムは、明治大学国際総合研究所・明治大学国際政策研究所とオーストラリアの西シドニー大学との共催により、12月11日(月)に下記要領にて開催されます一般公開の国際シンポジウム「Australia, Japan and Southeast Asia: Tenth Anniversary of the Joint Declaration on Security Co-operation」を後援することになりましたので、ご案内申し上げます。

一般に外交政策には、相手国との競争に打ち勝たねばならないハードな側面と、国家間の相互依存や連合を形成するソフトな面とに分かれますが、今回のシンポジウムは日本とオーストラリアが2007年に出した「安全保障協力に関する日豪共同宣言」10周年としての節目に、両国がどのような国際貢献ができるのかを東南アジア諸国の視点も交えて考えるというものです。10年前の「共同宣言」では、日豪協力の課題として国境の安全、テロ対策といったハードな課題から、非伝統的安全保障協力の課題でもある麻薬取引・人身売買への対処、災害救援、感染症拡大防止、キャパシティ・ビルディング等ソフトな課題も挙げられていました。このような協力は日豪二国間に留まるものでなく、第三国・地域に対しても発揮されるものであることが明記されています。この地域的広がりや東南アジアからの参加者と一緒に討議することを本シンポジウムは目指しています。

本シンポジウムは海外より、David Walton 氏(西シドニー大学)、Andrew O'Neil 氏(グリフィス大学、オーストラリア)、Rikki Kersten 氏(マードック大学、オーストラリア)、Martin Walker 氏(オーストラリア大使館政務参事官)、Pham Quang Minh 氏(ベトナム国立大学)、Evi Fitriani 氏(インドネシア大学)、Virginia Watson 氏(アジア太平洋安全保障研究センター、米国)、Malcolm Cook 氏(東南アジア研究所、シンガポール)、Thomas Wilkins 氏(シドニー大学)等の専門家を東京に招き、日本側の専門家と意見交換を行う予定です。その「プログラム」は<http://www.jfir.or.jp/j/r/xcl71211.html>よりご覧いただけます。

なお、本シンポジウムの使用言語は英語のみになります。つきましては、ご出席をご希望の方は、**12月8日(金)**までに、メール(symposium@miga.jp)にて**(1) お名前(フリガナ)**、**(2) ご所属**、**(3) お肩書き**、**(4) ご連絡先**(1、2、3につきましては日英両語)をご記入の上、シンポジウム事務局宛にご応募ください。なお、会場収容能力(約80名)を超える応募がある場合には、先着順で締め切らせて頂きますので、予めご了承ください。お預かりした個人情報につきましては、本シンポジウムのためのみ使用し、それ以外の目的には一切使用いたしません。

記

International Symposium "Australia, Japan and Southeast Asia:
Tenth Anniversary of the Joint Declaration on Security Co-operation"

1. 日時：2017年12月11日(月) 14:30-19:00
2. 場所：明治大学駿河台キャンパス・グローバルフロント2階「4021教室」
(東京都千代田区神田駿河台1丁目1番)
3. プログラム：<http://www.jfir.or.jp/j/r/xcl71211.html>
4. 参加費：無料

<本シンポジウムに関する連絡先>

明治大学国際総合研究所シンポジウム事務局

(E-mail: symposium@miga.jp, TEL:03- 3296-3621)